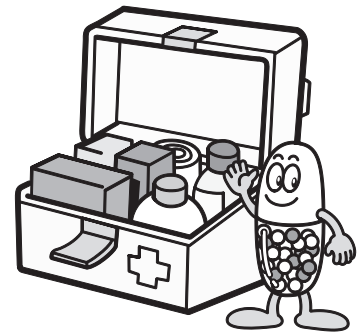


# く す り ば こ



## 68. 糖尿病療養指導士 (CDE)

国際糖尿病連合が発表したデータによると、2011年の日本の糖尿病人口は1067万4320人に上り、世界ランキング第6位となっています。

のどが渇く、トイレが近い、疲れやすいなどの症状がある方は、血糖値が高くなっているかもしれません。反対に、このような症状がないからといって糖尿病ではない、とは言えません。むしろ、まったく症状のないことのほうが多いのです。日本人ではほとんどが肥満、生活習慣の乱れから引き起こされる2型糖尿病です。今回は、「糖尿病療養指導士(CDE: Certified Diabetes Educator)」についてお話しします。

CDEとは、「糖尿病とその療養指導全般に関する正しい知識を持ち、医師の指示の下で患者に療養指導を行うことのできる熟練した経験を有する医療従事者」に与えられる資格です(日本糖尿病療養指導士認定機構細則より)。

日本では2001年にこの制度ができました。医師の指示を正しく患者様へ伝え、毎日の食事・運動・薬による治療の手助けすることを目標としています。

当院にもCDEの資格をもったスタッフ(管理栄養士、看護師、臨床検査技師、薬剤師)がおり、協力し療養指導に携わっています。薬剤部には現在4名のCDEがおり、新たに1名が資格取得を目指しています。糖尿病教育入院の講義を受け持ったり、入院患者様へお薬の説明を行っています。糖尿病の方はもちろん、他の病気の方への服薬指導においてもCDEの知識を役立てています。糖尿病を含めた、生活習慣病(脳卒中、心臓病、脂質異常症、高血圧、肥満など)の治療は、病気を正しく理解することが大切です。私たち薬剤部のCDEはお薬のことを中心に、患者様に役立つ情報を提供したいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



(薬剤部 高橋 佳代子)

